

荒川区男女共同参画社会推進区民会議 議事要旨		
日 時	令和7年1月17日（金） 14:00～15:15	
会 場	区役所 3階 特別会議室	
出 席 者	権丈会長、椎葉委員、近藤委員、滝沢委員、木村委員、高田委員、桺委員、松熊委員、飯田委員、福田委員、北川副会長、古瀬委員	
議事要旨		
1 会議の開会 ◆ 事務局より開会あいさつ 2 委員の委嘱 ◆ 委嘱状交付・自己紹介 3 議題 1 会長の就任、副会長の選任 ◆ 会長：権丈委員就任 ◆ 副会長：北川委員選任 4 委員の出席状況の確認 ◆ 委員14名中、11名出席 5 会議の傍聴について ◆ 傍聴希望者：なし 6 議題 2 女性の働き方と老後の生活について ◆ 会長から「女性の働き方と老後の生活」について説明…資料2 【会長】 ◆ 昨年11月刊行の『月刊資本市場』に執筆した、公的年金の財政検証の結果に関して「女性が活躍する日本の未来のために」という論文に基づき説明する。 ◆ 年金は非常に長期間のものなので、5年に1度、いわゆる健康診断のような形で財政検証をしている、昨年7月になかなか良い結果が出た。その理由は、結局のところ、女性が働くようになってきているということである。 ◆ 時代の変化の中で少しずつ男女共同参画の歩みがあり、世代で見ると、若い世代が変わってきており、彼らを支援する制度が進んできている。その結果、若い世代の将来の年金にも影響してくるという話になっている。 ◆ そこで注目するのは、次の世代に合わせた制度作りや環境整備が必要になって		

きており、その成果が上がってきていることである。

- ◆ 例えば、図表 1 にあるとおり、 将来的な経済状況等により条件は変わり、経済が成長する成長型経済の場合と、過去 30 年と大きく変わらない経済状況の場合が想定されるが、女性の厚生年金の老齢年金の平均月額と被保険者期間を示しているとおおり、年金受取時の試算では、成長型経済の場合、女性の労働参加も進み、1959 年生まれの方が 65 歳の時に 9.3 万円だったものが、今 20 歳の人は 19.8 万円になるという推計がされている。過去 30 年間と同じような状況であれば、厚生年金の加入期間の伸びは成長型経済と変わらないが、賃金はあまり伸びないから給付額は成長型経済ほどには上がらないが、いろんな状況等を考えても、これからの年金の給付水準は今のままということはないと考えられている。
- ◆ 厚生年金の平均加入期間に焦点を当てれば、1959 年生まれ、今 65 歳の女性だと、合計で 17.2 年働くことになっているが、今 20 歳くらいの人は、経済状況に左右されず 30 年くらい働くということで、将来も働いていけば年金についてもそんなに心配しなくていいという結果になっている。
- ◆ その前提となる労働市場の仮定などを見ると、生産年齢人口が減ってきていると言われる中で、だんだん女性も高齢の方も働くようになり、就業者数は伸びてきた。
- ◆ これから就業者数がそう伸びなくなり労働力がいよいよ希少になる中で、賃金が上がっていく局面に入りつつあるのだと思う。
- ◆ その上がり方が、例えば平均の初任給月額の図表 3 など見ていただくと、明らかに変わってきているのが分かる。物価調整をすると実質ではどうなるか、という問題はあるが、これもいずれ上がるのではないかと考えられる。
- ◆ そして、図表 4 にあるのが、女性の出生コーホート別年齢階層別就業率で、いわゆる M 字型の就業形態のグラフだが、ここでは、ある時点で見た各年齢の人口のうち働いている女性の割合を結んだものではなくて、実際にたどっていく就業率を結んだ線になる。均等法前に労働市場に入った人たちは M 字型がはっきりしているのに対して、今の若い世代になると M 字型の落ち込みも見られなくなりどんどん変わってきている様子が分かる。
- ◆ よって、いかに今の若い世代の女性が仕事も家庭も無理なく進めていけるように支援をしていくことが重要で、これからの将来の日本の豊かさに関係してくるのではないかと考えている。
- ◆ お時間のあるときにご覧いただければと思う。何かあれば、後でまとめてご意見をいただく。

7 議題3 「誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す実行プラン～荒川区男女共同参画社会推進計画（第5次）～」の進捗状況について

【事務局】

「誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を目指す実行プラン～荒川区男女共同参画社会推進計画（第5次）～」における進捗状況について説明…資料3－1、3－2

【会長】

- ◆ 時間の都合もあるので、議題3～5まで一括して説明し、質問や意見は、その次の議題でまとめて受けることとしたい。

8 議題4 「荒川区職員魅力ある職場づくり推進計画（特定事業主計画・障害者活躍推進計画）～働きやすく、働きがいのある職場を目指して～」に基づく取組の実施状況の公表について（抜粋）

【古瀬委員】

- ◆ 「荒川区職員魅力ある職場づくり推進計画～働きやすく、働きがいのある職場を目指して～」に基づく取組の実施状況の公表事項について説明…資料4－1、4－2、4－3

【会長】

- ◆ 男性の育児休業取得率や、年次有給休暇の取得率もだいぶ上がっていることや、男女の賃金の差異について、基本的に男女同一賃金なのに、差が出ている理由について、初任給が少ない保育士に女性が多いこと、扶養手当等の各種手当の支給状況が影響しているなどについて、なるほどと感じた。
- ◆ ご意見等については、次の議題の説明を受けてからお願いしたい。

9 議題5 第6次計画策定に向けての荒川区区政世論調査実施状況について（報告）

【事務局】

- ◆ 第49回荒川区政世論調査報告書の男女共同参画部分抜粋について説明…資料5

【会長】

- ◆ 様々な興味深い結果について、ご報告をいただいた。

10 議題6 男女共同参画施策に関する意見・提言について

【会長】

- ◆ 皆様からご意見、ご質問等を頂戴したい。

【副会長】

- ◆ 区役所では、区民の皆さんに幸福になっていただこうと、これまで長年色々やってきた。その中でも、少数の方であっても不幸な人がいてはいけないと、区で最初に取り組んだのが、子どもの貧困問題である。
- ◆ 今年度の区政世論調査の「DVに関する意識調査」の結果で衝撃を受けたのは、割合的には少数かもしれないが、どう見ても暴力に当たる項目で、暴力に当たらないと認識している人がいたことである。
- ◆ 今後、啓発が重要になってくるが、残念ながら、区役所で色々イベント、講座を実施しても意識のある人しか来てくれず、区報も意識のある人が見ている状況である。
- ◆ このような状況をどうすればよいかと考えたときに、一番大切なのは、ここにいる委員の皆様のような方々に、「これは暴力である」ということを伝えていただくことだと考えている。
- ◆ 何よりも、地域において、DVは暴力であり、やってはいけないことという共通認識を広げることが大事だと考えている。
- ◆ 周囲にDVを相談しても、「これは愛情の証だ」などと言う人がいる。そういうことがないよう、身近なところで相談できる人が重要である。そうした意味においては、ここにいる皆様に正しい理解を啓発していただくなど、地域力を発揮できる荒川区であってほしいと思う。区としても、できることはやっていきたいと考えている。ご協力をお願いしたい。
- ◆ 今の問題に限らず、それぞれのお立場から、ご意見をいただければと思う。

【会長】

- ◆ いかがか。

【委員】

- ◆ 荒川区が主催するリバーサイドマラソンの協力をさせていただいているが、例えば女性の部に、体が男性、性自認が女性の方が出場したときに、区としては特に止めることはしないという見解であった。極端な例だが、1位から6位まで賞を独占するような状況となったときには、多分いろいろな反響があると思う。オリンピックでさえも頭を悩ませており、先ほど副会長からあった「みんなが幸福」という議論の中では正解がなかなか見出しにくいテーマであるが、荒川区としてもその見解を問われる日がいずれ来るのではないかと思う。

【事務局】

- ◆ スポーツと多様な性の関わりについては、オリンピックでも議論等があり、それぞれ各競技団体のルールの中での整理という状況になっていると認識しているが、難しい課題である。
- ◆ 一方で、私どもも区施設利用の関係では、庁内で例えばトイレとか更衣室につ

いては他の利用者との兼ね合い等の区施設における取扱いを整理し、共通のルール、ガイドラインを策定し、全庁的に共有している。

- ◆ 区の各種施設では、例えばスポーツ施設の更衣室では、専用の部屋を準備したり、トイレであれば多目的トイレの使用をご案内するなど、ニーズに寄り添いながら対応しており、今の段階ではトラブルは生じていない。

【委員】

- ◆ 弊社の女子野球部の部員は、体が大きく、ショートヘアの選手も多く、遠征に行き、休憩所のトイレに入ろうとすると、女子選手なのに、「男性はあちらだ」と言われることも多いと聞く。笑って話してはいるが、結構傷ついているのではないかと感じている。

【副会長】

- ◆ 今、区としてどうかと言われると、確かに答えには困る部分もある。今、課長からもあったが、今のところは大きな問題になっていないから判断をするに至っていないというレベルであり、社会としての合意がどのぐらいでできていくのか、見守るしかないところがある。
- ◆ 他地域で先駆的に取り組んだトイレが予期せぬ犯罪につながる使われ方をしてしまった事例がある。この件については、少しずつ時間をかけて、議論が熟していくのではないかというのが私の感覚である。

【委員】

- ◆ 子育て交流サロンでは、パパタイムという、週末にお父さんやおじいちゃんなど男性保護者を優先している時間がある。最近では、人気になっているということと、お父さんたちが子育て交流サロンを認識されたせいか、割と平日にもお父さんが連れてくるのが目立つようになってきた。
- ◆ そうした方は、多分育休中なのかと認識している。統計はそれほど取れているわけではないが、肌感覚として社会全体の男性の育休が増えているというのは感じる場所である。

【会長】

- ◆ お父さんたちの行き場を作ってくれる取組が非常に良い。

【委員】

- ◆ お父さんたちもお母さんに、子どもと遊んできてと言われているし、その受け取り場という意味でも、子育て交流サロンがすごく有効だと感じている。安心してお父さんが他のスタッフもいる中で子どもと遊んでいる、父親が安心して過ごせる場だと感じている。

【委員】

- ◆ 主任児童委員では、双子の会と、子育て相談会を開催している。特に、双子の

家庭は、1人ずつ子どもを見るためにもパパの参加が多い。

- ◆ その結果、1組の双子に4人が来るので3組ぐらいになると、部屋がいっぱいになる。そういう状況で、パパを頑張っている自慢をする様子も見かけるが、2人とも親だから当たり前だよと声かけをして、お節介を發揮している。

【委員】

- ◆ 「たまには運動しませんか」というイベントを当初は子育てママたちが運動するきっかけということで企画したが、最近は夫婦で参加される方が多い。託児の枠を増やしたことで70～80人の参加だったものが、この3月は150人と体育館が狭くなるほどになった。
- ◆ 女性の参加が増えたことで、その延長で、地域スポーツクラブで混合バレーボール大会を年2回ぐらい開催し、女性がパートナーを誘い、参加してくれている。
- ◆ その結果、女性チームの編成がやっとだったのに、男性がチーム編成できるくらい男性の参加者が増え、スポーツをきっかけに夫婦で一緒にとか、そうした場所へ来るというきっかけになり、男性も仕事を切り上げてスポーツクラブに参加するという習慣になってきている様子である。

【委員】

- ◆ この会議に今回で3回目の参加をさせていただいている。当初、男女共同参画社会の推進というテーマを聞き、若干の不安があった。
- ◆ 我々のような中小企業、荒川区は特に小さい会社がほとんどの中で、一番問題になっていることは労働力不足である。特に、新入社員は大手に一極集中である。大手企業や、行政は数値目標を決めて取組を進めることができて、中小企業では厳しい。社内の施策に格差がついて、ますます優秀な人材がそういう取組が進んでいる大手に行ってしまう懸念があると課題意識を持っていた。
- ◆ この会議に参画した機会に、課題を社内に持ち帰り、この場で得た先進的な取組を共有し、逆に小さい会社がこのような取組をたくさん取り入れたらどうなるかと社内で訴え、結果、3つの取組を実施した。
- ◆ 1つ目として、男女ともに夢を叶える環境を作るため、積極的にライフ・ワーク・バランスの取れる働き方を優遇するという取組である。2つ目として、女性の管理職課長級を男女雇用比率に合わせて、まず20パーセントという目標を立てた。3つ目として、男性社員の育児休暇取得の促進の取組で、社員自ら取得するという習慣がないため、お子さんができたと聞いたら上司から積極的に取得の促進をしている。
- ◆ 現在、小さい会社であるが、男女共同参画に取り組んでいることを武器にして、昨年度も全国大学を回り、大手とは違うがそれでもこのような施策があると言

い続け、今年度おかげ様で4月には、8人の新卒者の入社が決まり、今までにない状況である。

- ◆ こうしたことを少しずつでも取り組むことによって、荒川区の小さい会社でも大手に負けない、優秀な人材が入ってくるということを、今後も微力ながら続けさせていただきたい。

【会長】

- ◆ すばらしい。

【委員】

- ◆ 今、お話を伺い、都内はやはり、女性、特に子育て中の方を受け入れようとしてくださる企業、理解が非常に進んでいると感じている。
- ◆ 近隣のハローワークの意見を聞くと、まだまだ進んでいない、そんなに理解のある企業ばかりではないというような意見もある。今伺ったお話を、我々は広めていかないとと思っている。これだけ女性活躍も進んでいるということを情報提供しながら、人材の確保にお役に立てればと思っている。
- ◆ 先ほどDVのお話があったが、現実、私どもも実際の相談の場で感じることもある。特に問題なのが、ご本人がこれをDVと感じていないところである。例えば生活費を出してくれないとか、そういうことがある。もちろん就職の支援はするが、明らかにDVに関わる問題だから相談をするようにと進めているが、やはり夫婦間のことで、必ずしもいい方向に進むばかりではないが、いろいろな立場からの啓発というお話を伺い、まさにその通りだと思っている。

【副会長】

- ◆ 今お話を伺って思ったのは、結局、居場所をどう作っていくかということと、きっかけを作っていくということで、何らかの集まれるような場で、活動を促進していくことが必要であると感じた。
- ◆ それから、男女共同参画が企業の武器になるというのは大変いいお話だったと感じた。いろんな形で区内企業がもっと元気になっていただきたいと私ども思っているので、男女共同参画が武器になったということを、私どもも、もっと使わせていただき、ハローワークとも協力しながらPRさせていただくと、産業活性化にも寄与できると感じた。貴重なご意見に感謝する。

【会長】

- ◆ 様々な観点から貴重な意見をいただいた。本当にいい取組が、さらに広がっていくことを期待している。
- ◆ 本日、皆様のご意見を伺うのは以上とする。

【会長】

- ◆ 計画全体に関わる取組の評価、そして数値目標を掲げている指標について、それぞれ事情などもありながら、概ねうまく進んでいる。さらに指標、目標等を達成していくよう、これからも引き続き事業の推進をお願いしたい。
- ◆ また、来年度、計画の改定ということなので、より充実した内容にしていだけるようお願いしたい。

1 2 今後の日程等について

(事務局から今後の日程等について説明)

- ◆ 現行計画の話は、第 5 次計画であり、計画期間については、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 か年の計画となっている。
- ◆ 来年度においては、計画の改定作業を進めさせていただきたいと考えている。
- ◆ 先ほど報告させていただいた区政世論調査の結果、それから計画策定の進捗状況、皆様からいただいた貴重なご意見等も活用して計画策定に臨んでいきたいと考えている。

1 3 閉会